

令和4年8月定例教育委員会会議録

令和4年塩尻市教育委員会8月定例教育委員会が、令和4年8月17日、午後1時30分、総合文化センター2階大会議室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 9月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について

4 その他

- その他第1号 第36回全国短歌フォーラム in 塩尻（一般の部）投稿数
その他第2号 令和4年度全国学力・学習状況調査結果の公表について

5 閉 会

○ 出席委員

教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委員	小 林 夕 香	委員	徳 武 あ ゆ 子

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	太 田 文 和	生涯学習部長	胡 桃 慶 三
こども教育部次長 (教育総務課長)	熊 井 美 恵 子	生涯学習部次長 (社会教育スポーツ課長)	田 下 高 秋
こども課長	竹 中 康 成	平出博物館長	小 松 学 生
家庭支援課長	植 野 敦 司	市民交流センター 長(図書館長)	上 條 史 生
主任学校教育指導 員	村 上 啓	文化財課長	中 村 琴 江

○ 事務局出席者

教育企画係長 佐 藤 智 樹

1 開会

赤羽教育長 皆さん、こんにちは。よろしくお願ひします。今、外を見ますと、夏の木の花 サ

ルズベリがあちこちでピンク色の花を咲かせて、今の時期を表しているのだなということを感じております。

今年のお盆ですが、3年ぶりにコロナ禍による行動制限はありませんでした。以前あったように、テレビのニュースでは40キロメートル渋滞だとか45キロメートル渋滞だという、ニュースが盛んに放映されておりました。国内の新規感染者数は1週間平均が、この間調べましたら19万6,000人ということです。先週から約9%、これでも減ったということですが、このお盆期間の人の移動で新規感染者数が再拡大する可能性もあるという見解があります。とても心配される状況であります。

保育園はお盆明けの登園が始まり、小中学校も間もなく2学期という一番長い学期がスタートすることになります。日々の新型コロナウイルス感染対策を継続しまして、より安全な学校生活、それから、楽しみで心に残る行事が無事行われることを願っております。

それでは、ただいまより8月定例教育委員会を開会いたします。よろしく申し上げます。

2 前回会議録の承認

赤羽教育長 次第に従いまして、2番、前回会議録の承認について事務局から申し上げます。

佐藤教育企画係長 前回、7月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名いただきますので、よろしく申し上げます。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

赤羽教育長 それでは、そのようにお願いいたします。

3 教育長報告

赤羽教育長 3番、教育長報告に入ります。今回、私は1点だけ報告させていただきます。タイトルが「祝全国大会出場・東海大会出場」これは、塩尻中学校のホームページに紹介されていたタイトルであります。市内の塩尻中学校では、新体操部1名が岩手県で行われる全国大会に、相撲部3名が北海道で行われる全国大会に、そして吹奏楽部が東海大会に、県大会や北信越大会を勝ち抜いて出場することが決定しました。

令和4年度の第43回北信越中学校総合競技大会が長野県で行われて、塩尻中学校からは陸上部、相撲部、新体操部の皆さんが出場しました。その中で相撲部のメンバーが、県大会において「ベストマナー賞」を受賞したそうです。ホームページをよく見て拡大してみますと、その賞状には「貴チームは、本大会において、競技に真摯な態度で取り組むとともに、応援、服装、会場使用等の面でも模範となるものでした。スポーツ文化活動の発展に寄与されるものとして栄誉をたたえここに賞します」と記されておりました。相撲道の心・技・体を全て兼ね備えたメンバーだったのだなということを感じました。

その近い頃、市民タイムスのインタビュー記事に、大将になった吉本さんがインタビューを受けました。こう語っていました。「小学校の頃から一緒に稽古を積んできた仲間であつた4位である。全中に向けて、実力や技をさらに磨きたい」と、日頃からメンバーとの信頼関係、そして本大会に臨む意気込みが伝わってくるすばらしいコメントでありました。この夏休み、長期の休みにしか経験できない貴重な体験をそれぞれの子どもたちが重ね、みんな一回り大きくなって登校してくるのではないかなと思います。私からの報告は以上です。

この報告に関しましての御質問、御感想、また委員の皆様がイベントに参加された意見や感想等ありましたら、この後発表をお願いしたいと思います。私からは以上です。

それでは、委員の皆様から報告等ございましたらお願いいたします。

碓井教育長職務代理者 夏休み中の子どもたちの居場所という話題が、前回の7月定例教育委員会で出されましたが、たまたま最近市内の2つの児童館に行く機会がありましたのでその様子や感じたことをお話しさせていただきたいと思います。

行ったのは、小中学校が夏休みに入ってしばらくたった今月の初旬で、場所は片丘の児童館と吉田児童館の分館です。両児童館とも夏休み中ということで、来ていた子は登録者の半数前後で、平日に比べると若干少ない人数が利用しているということでした。その中で、高学年の利用者も1割程度いたかと思えます。開館時間の8時から午後7時の閉館時間まで児童館にいる子どもも毎日数名はいるようです。また8月初旬というのは、コロナ感染が拡大していた時期でもありましたので、みんなマスクをして、遊ぶときのルールは児童館によって違っていましたけれども、大きな集団の遊びはできずに2人までとか、学年ごとに遊戯場を使うとかの制限がかかっていた。もちろん食事はテーブルの両端に座って、前を向いて話さずに食べるということでした。このような中でも、子どもたちが本当に楽しそうに生き生きと活動している姿が印象に残りました。

そういう姿を支えるために、両児童館では子どもたちが充実して過ごせるよう、段ボールを使った工作をしたり、近くの公園施設を利用したりするなど、職員の方の持ち味とか、近隣の施設を活用する等の工夫された活動を展開されていました。学校との連携も意識されて、必要な場合の連絡も取り合っているということでした。

施設設備の面では、片丘児童館は小学校の空き教室を利用した施設になっていて、夏休み中は教室の一部を貸してもらって、そこを子どもたちが使用しているということでした。そこは学校の教室でありますのでエアコンも入っていて、最近はとても暑い夏になっていますので、夏休みに子どもたちが長時間過ごす居場所として、とてもよいのではないかと感じました。

吉田の分館では、ビデオを遊戯室で見る場面を少し参観させていただきました。感染対策のため前から後ろにかけて分散して座っていましたが、みんな熱心に画面を見ていました。ただ、後ろから見るとテレビがちょっと小さすぎるかなと、そんな思いも持ちました。

児童館の施設設備や活動内容をさらに充実させていくには、費用とか人材等が必要になって難しい面も当然出てくるかと思えます。また、空き教室の利用等については、それぞれの学校によって状況は違うと思いますが、今後空き教室等が増えてくる小学校の場合、学校との折り合いがつけば、放課後や休みの日に教室を利用させていただくことも合理的かなと思いました。いずれにしても、今後の社会の状況を考えると、児童館のような施設は一層充実させていくことが必要ではないかと改めて感じました。以上であります。

赤羽教育長 ありがとうございます。今、お話がありました学校との関係あたり含めまして、ちょっと様子が分かればお話しできますか。教育総務課長、お願いします。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） 学校との連携につきましては、今年の夏はとても暑いのですが、児童館の遊戯室には冷房がない状況です。学校が夏休みのときには、学校から冷風機を借りて使用したり、学校が隣接している児童館であれば、体育館を借りて活動したり、学校と連携しながら、夏休み中の児童館を運営しているところでございます。

赤羽教育長 ありがとうございます。そのほか、関連してあれば、児童館についてどうでしょうか。

今、お話のあった片丘の空き教室、これは以前から片丘の児童館は教室数が足りないということで前館長から話がありました。そこで何年かかけて、先ほど言われたように空き教室もあるので、うまくその教室を児童館のそばのところを使えるようにという形で、特に今年から、隣の教室を変えて、近いところで子どもたちも活動できるような連携が取れています。そこにつかなければいけない人、指導員、そういうこともセットであれば一番いいと。

碓井教育長職務代理者 とてもいい感じで子どもたちが活動していましたので、ぜひあのような形が広がっていくといいなと思いました。こういう施設は社会インフラといいますか、そんな方向で考えていくことも大事かと。今後の社会を見たときに、共働きの御家庭もどんどん増えてきている状況でもありますし、また、近くで子どもを見てくださる方がいない、少ないという状況の御家庭も増えてきているので、そんな点も考えていく必要があるのかなと思いました。

赤羽教育長 今日、この後3時から総合教育会議があるのですが、吉田本館と分館がありまして、前はかなり近いところにありましたが、吉田原保育園の横に併設で分館ができて、3区、4区、5区の子たちは、歩く距離がかなり近くなりました。一つ一つですけど、分館を建てる場合とかもいいですが、全部新しくはできないので、今、職務代理が言われたような、空き教室が使えるような形が理想かなと思います。

そのほかのことでもありますか。

徳武委員 夏休み中、自然博物館の昆虫展に行ってきました。小坂田公園はすごく久しぶりだったので、大分整備が進んできれいになったという印象でした。子どもがやはりすぐにゴーカートに行きたいと言ったので、ゴーカートに先に乗ってから昆虫展を見に行きました。他の子どもさんたちも、やはりゴーカートから昆虫展という流れの方が多かったように思いました。

私は、5月の新聞にあった取引規制の貴重な蝶というのをずっと見たくて、ようやく行くことができました。規制されているこの貴重な蝶がまだ8月でも展示されていたということで、すごくよかったなと思いました。もうひょっとしたらしまわれてしまったかなと思ったのですが、係員の方に聞いたら、まだ展示してありますと教えて頂いて貴重な蝶を見ることができました。本当にきれいで、もちろん外国のもんですけど、なかなか見られるものではないなと思ったものですから、ぜひたくさんの方に見ていただけたらなというのすごく感じました。

また、1階に行ったら、生きた昆虫がたくさん展示されていました。昆虫の飼育箱の上にこれはカブトムシ、これはカミキリムシと説明書きがきれいにされていました。そして展示の最後に感想を書いてくださいというノートが置いてありました。そこには大人の方も子どもの方も、これがよかったとか、絵を描いたりしてあったりだとかいろんな方がいて、大変にぎわっているなという感じがいたしました。

今後、移設の件もありますけれども、ぜひ子どもが遊びついででもいいですけど、行かれるような、良い流れの中で自然博物館がまた成り立っていけばいいなというのを感じました。以上です。

赤羽教育長 コメントは。

徳武委員 この貴重な取引規制のかかっている蝶は、今後ずっと展示しておいていただけののかというところを聞きたいです。

中村文化財課長 本当であればずっと常設をしていけばいいのですが、やはり今後の保存というところを考えますと期間限定の扱いになってきます。色等の劣化を防ぐためにも。ただ、なるべく大勢の皆さんが御覧いただける期間を選んで展示をするべきだとは思っております。

徳武委員 当面は夏休みだけですかね。

中村文化財課長 いつまでというのはまだ決めてはいませんが、現在展示しているもの以外にもきれいな貴重な蝶もごございますので、そういったところを回転よく展示できればと思っております。

徳武委員 ありがとうございます。

赤羽教育長 息子さんは何とって言っていましたか。ゴーカートですか。

徳武委員 まず、ゴーカートへ行こうと言われました。それでも、博物館では昆虫はやはり生きていこうが興味はありますね。蝶もすごく数が多いものですから、標本にもなっているのを見やすいのですが、どうしてもやはり生きていこうに。ほかの子たちも声を出して見ていたのは、生きてい生物ですね。カブトムシも全部種類分けされていて、なかなか自分では、これは何クワガタだとか種別がつかないものまで知ることができてすごくよかったです。

赤羽教育長 ありがとうございます。

小林委員 お伺いしたいのは1つで、あとは感想です。1つは、10日ほど前、新聞を見ていたら、市内の学校に侵入者があったということでした。それも30代だったかと思うのですが、やはりちょっと若い人だなというのがすごく気になりました。それしか情報としてなかったのですが、学校は被害があったのかなかったのかとか等。その方は、情報として出していい部分だけあれば、どういう心情でそういう行動になってしまったのか、そういうのはすごく気になります、もし教えていただけたらお願いしたいと思っております。

赤羽教育長 市内の中学校の件で、伝えることのできる範囲で、教育総務課長、お願いします。

熊井子ども教育部次長（教育総務課長） この件につきましては、協議会で御報告したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

小林委員 申し訳ありません。

赤羽教育長 続けてお願いします。

小林委員 8月初旬に特別支援教育研修会に参加させていただきました、とても勉強になりました。ありがとうございます。1日目の岸田先生が、学校の先生に提案されたと思うのですが、子どもとのやりとりの中で成功例集を作って、ぜひ先生たちと共有してほしいというお話があって、それはすごくいいなと思ってお聞きしていました。自分の子育ての中でもやはり、子どもとのやりとりで、こうやってやったらうまくいったというところは、すごく後輩の方に生かしていけるとことがあると思うのです。ぜひそういうのを進めてほしいと思ったのですが、そういうのを進めるに当たっては、学校の先生がお骨折りをするという形になるのは大変だなと思っておりますが、でもぜひ進めてほしいなと思っております。

それと、2日目の先生は、割と失敗例をたくさん挙げられていて、失敗例も大事ななどは

思うのですが、結構学校の先生がやられていたことで、それ失敗だよという感じで受け止められがちな内容でした。子どもを褒め過ぎちゃいけないとか。褒めることによってうまくいく例もあったりするけど、それは良くなかったのかと発表している先生がいました。やはり成功例をいっぱい知ってもらおうというのがすごく先生たちも大事なかなという感想を持ちました。

コロナ禍でなかったら多分もっと接触をして、ワークとかやりとりがある、ワークショップが入ったような講座になったのかなと思います。やはり、割と一方的に講師の方がお話をして、それを先生が受け取るという形でした。もう少し、こういうふうにされたらどんな感じかというのを体験できる型の講座が増えていくと、もう本当にその翌日から生かせるというような情報が先生たちの手に入ると思うので、もう少し実践型講師をお招きしていただけるといいなと思いました。感想です。

赤羽教育長 ありがとうございます。

そのほかのことをございますか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

○報告第1号 主な行事等報告について

赤羽教育長 それでは報告第1号、主な行事等報告についてお願いしたいと思います。資料1から5ページであります。事務局から主要な行事につきまして説明をお願いします。

上條市民交流センター長（図書館長） 私からは2件報告いたします。まず2ページ下段、7月23日土曜日に、ちびてつ2022（第1回）を開催いたしました。このちびてつは、「ちびっこ哲学」を意味する講座名でございます。信州大学の脳科学者、有路憲一先生の御指導の下で、信州大学の学生たちが子どもたちと交流しながら、考えることは楽しいということを体験する講座で、これまでも継続して行ってきたものでございます。

今回の内容は、「自分について」という最も身近なテーマで、自分が自分のことをどのように受け止めているか、併せて保護者のアンケートによって、親が自分をどのように見ているかというようなことも交えながら、自分の姿と他から見た姿はどのように違うかということ子どもたちが考えました。今年度5回開催する予定の1回目でございます。

次、3ページ上段です。今年度、信州しおじり本の寺子屋は、年度当初の予定どおり、この間も開催してまいりました。その中で、7月24日日曜日、小泉今日子氏講演会「本と本屋とわたし」というタイトルで、レザンホールで開催いたしました。昨年度、企画をいたしました、本の寺子屋10周年記念として延期になっていたものを開催したものでございまして、レザンホール大ホールを満席にして開催し、1,000人近い参加者がございました。

俳優・歌手として著名な小泉今日子さん、自らの人生の中での本・読書について熱心に語ってくださるとともに、成果のところにありますように、自著の朗読、会場からの質問への丁寧な回答をしていただきまして、参加者の満足度はさらに高まったと感じております。後日、信濃毎日新聞1面の記事掲載などもございまして、本の寺子屋のブランド力向上につながったものと受け止めております。私からは以上です。

赤羽教育長 では、続けてお願いいたします。これでいい、2点でいいですか。では、植野家庭支援課長をお願いします。

植野家庭支援課長 続きまして、こども教育部5ページになりますのでお願いいたします。7月30日土曜日にありました、塩尻市子ども・若者応援フェスタということで、第1部シン

ポジウムにて、2部イベントという形で開催させていただきました。場所は市民交流センター3階、内容につきましては、シンポジウムでは信州大学の荒井英治郎先生に基調講演いただいた後、松本大学の今村先生、NPO法人ジョイフルの横山さん、NPOホットライン信州の青木さん、小口市長、赤羽高志教育長に御登壇いただきましてトークリレーを行いました。第2部については、お弁当の無料配布、おさがり会、活動紹介、出張図書館等を実施したものでございます。

成果につきましては、基調講演では、計画の内容、子ども・若者を取り巻く現状について理解を深めることができたと感じておりますし、トークリレーでは、それぞれの皆様の活動の中で実施されていること、思いを聞かせていただきました。

イベントでは、お弁当無料配布800食を配布した状況でございますし、おさがり会でも120家庭に来ていただきました。夏休みの間の御家庭の一助になったと考えております。

また、出張図書館では、子どもの貧困対策、若者支援について関心を持っていただく機会となりました。参加者数については、延べ557人ということになっております。私からは以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは今、2人から報告がありましたけれども、参加された方もいらっしゃると思いますので、御質問や御意見、御感想ありましたらお願いしたいと思います。

小林委員 3ページの、図書館長からお話がありました小泉今日子さんの講演会に参加させていただきました。世代的には結構ドンピシャな世代だったので、私より主人のほうが喜んでいました。何でこういう題名なのかなというのが、本当に全部お話を聞いている中で、納得できました。私の中では、小泉今日子さんというのは、ちょっと異色みたいな感じのところがあったので、お話を伺って人を見る目が変わったと言いますか、とてもよかったなと思いました。

それで、開口一番に小泉さんが、「私、こういうところでお話しする、こういう形でお話しするのは初めてなんです」とおっしゃったので、すごくびっくりしました。いろいろな方のお話したり深夜放送をされていたりという経験があるので、2時間ぐらいおしゃべりになることは、そんなに大したことではないだろうと思いました。けれど、こういう会場に来てこんなに大勢の人の前で話をするということの経験がない方をどうして講師と呼んだのだろうと。そっちのほうに興味が行ってしまって、ぜひ館長さんなのか誰なのか、お声がけした方にどうしてですかということをお伺いしたいなと思って、ずっとこの日を待っていました。

上條市民交流センター長（図書館長） 小泉今日子さんをお呼びするきっかけになりましたのは、以前、本の寺子屋の講師としてお迎えをいたしました中に、読売新聞の編集委員を務めていらっしゃる鶴飼哲夫さんという方がいらっしゃいます。鶴飼さんが講演会の中で、読売新聞の読書委員いわゆる書評の委員として、小泉さんが10年にわたってお務めいただいたときのお話が出ました。小泉さんはそのような経歴をお持ちで、本や読書に対する見識もありだということが分かったものですから、ぜひ本の寺子屋にお呼びしたいということ、その講演会の最後の挨拶で私が申し上げまして、鶴飼さんに間を取っていただきまして、こちらの希望をお伝えして来ていただいたということです。

小林委員 ありがとうございます。そうやって発掘していくんですね。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。徳武委員。

徳武委員 私も同じく、小泉今日子さんの講演会に行かせていただきました。今、小林委員がおっしゃったのですけれど、歌を歌っているときのイメージとかと全然違うなというのが印象としてすごくあったのですけれど、お話もとても上手で、聞いていて飽きないというか、とても楽しかったです。たくさん本を紹介してくださりまして、そういうのを聞いて、やはり自分も読んでみたいと思うのが幾つかありましたので、とても参考になりました。2時間だったのですけれど、あつという間の時間でとても楽しかったです。ありがとうございました。

赤羽教育長 予定時間を超えてお話されたみたいなので。最初の挨拶のときは、1時間半とかいう感じが、きっちり2時間ぐらいお話しされて。ありがとうございました。

そのほかは、よろしいでしょうか。家庭支援課のほうはよろしいですか。小林委員は、特によろしいでしょうか。

小林委員 参加させていただきました。ありがとうございました。短い時間にすごい量を情報として提供していただいたので、ちょっと整理する部分が難しいなというところがあったのですが、どういう方が聞きに来ておられていたのかなというのに興味があって知りたいなと思いました。

それと、終わってからイベント会場に回らせていただいたときに、たった300円の寄附ですごくいっぱいお土産をいただいてしまって、逆に申し訳ないような気がしてしまったというのがありました。

ここに、おさがり会で120家庭が交換とあったのですが、そこに立ち番をしている大学生と高校生の方がボランティアで来ているという話を聞いて、何分かお話をさせてもらいました。こういうイベントに、ボランティアで参加している学生さんたちは、もっといろいろなところに出て行って活動したいのだけど、今年、去年もそうですけどコロナのことがあったので、やっところやっ来て来られたみたいな感じでした。今日、来られたことはよかったのですけれど、ボランティアとしてもっと自分を生かしてほしいけれど、その場があまりないということで、それをすごく残念がっていました。ですので、上手に学生さんたちを巻き込んで、もう高校生のときからやっしてくださっている方もいるので、言い方は悪いですが、そういう方を将来にもつなげるように上手に使わせてもらおう、そういうようにしていけたらいいなと思いました。

あと、おさがり会で、持ってくる人はすごく多かったのですけれど、引き取ってくれる人があまりいなかったのも、お店番していた高校生の女の子も、ちょっとうまく均等が取れていないというところで心配していました。その後、その残ったお洋服はどのように活用されていくのか、それを教えていただければと思いました。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。では、家庭支援課長お願いします。

植野家庭支援課長 御参加いただきまして、ありがとうございました。シンポジウムは、我々のほうで直接、文章で出させていただいた皆様、議員さんですとか区長さんですとか民生委員さん、それからあと、支援に関わっている団体の皆さんには告知させていただいたのですけれども、そういった方々を中心に市民の皆様の参加数であったというような、そんな状況でございます。

ボランティアのところなのですけれども、我々もイベントを開催するに当たって、社協に

ボランティアの方の参加をお願いしてあったのですけれども、ちょうどあのときにレベルが5に上がったタイミングでして、学生さんたち参加ができないということで、社協のほうはちょっと参加できなかったのですけれども、ホットライン信州のほうで独自に毎月、毎週土曜にいろいろなところでイベントをしていますので、そういったところのネットワークで信州大学の学生と高校生に来ていただいたというような状況になります。

我々も何かするときに、社協に声をかけていただいて、社協でも学生さんとのネットワークを持っていますので、そういったところで参加していただければなと思っていますし、市内は、ほかでやっている子ども食堂等についても参加している皆さんがいらっしゃいますので、そういった取組もだんだん広がってきているかなと認識しています。

あと、おさがり会ですけれども、やはりコロナ禍で学校のバザーがなかったりですとか、いろいろなところで御家庭にそういう子どもの服であったりとか、そういったものをたくさん抱えていらっしゃったという現状があります。最近お伺いすると、おさがり会をやると持って来る方が多くて、引き取られる方が少ないという話は聞いているのですけれども、残ったものについては年齢別でまた再度分けまして、ホットライン信州さんのほうで、また別開催のときに当日持って行って引き続き行っていくということで話を聞いています。そんなところになります、また我々としてもそういったイベントを支援していきたいなと思っています。

赤羽教育長 ありがとうございます。小林委員、よろしいでしょうか。

小林委員 ありがとうございます。シンポジウムですけれども、ちょっと言い方は失礼かもしれないのですけれど、動員をしたような感じで人数は集まるけれど、家庭支援課としては、本当はどういう人に来てほしいのですか。

植野家庭支援課長 内容が、やはりかなり難しいという大変ですけれども、専門的な部分もあったりするので、支援者の方も知らないこともまだまだたくさんありますので、課題であったりとか方向性の共有は、関係者が主体だということはありません。それと、学校と保育園には、こういうイベント自体はメール配信させていただいているので、一応、幼稚園も含めまして子育て世帯には情報としては届いているのですけれども、そちらについても、できる限り来てほしかったなという思いはあります。

ただ、結果としてこういう形で35名弱というような状況でございましたけれども、参加していた皆さんには、思いでありましたり課題でありましたり、そういったものは共有できたと思いますので、そういったところから広がりを期待したいと思っています。

小林委員 分かりました。ありがとうございます。

赤羽教育長 ありがとうございます。ほかによろしいでしょうか。

それでは、次に進みたいと思います。

○報告第2号 9月の行事予定等について

赤羽教育長 報告第2号、9月の行事予定についてお願いいたします。資料6ページ。皆さん全員に関わるものは、29日に定例教育委員会・協議会がありますので、皆さんの出席をお願いします。新型コロナの感染拡大によりまして、残念ですが、ひらいで遺跡まつりが中止となりましたが、本の寺子屋講演会などの行事もありますので、委員の皆様も御都合がつかましたら、御覧いただければと思います。内容を見ていただきまして、御質問等ありましたら

お願いいたします。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。また何かありましたらお願いいたします。ないようですので、次に進みたいと思います。

○報告第3号 後援・共催について

赤羽教育長 報告第3号、後援・共催についてです。資料7、8ページ。御覧いただきまして、御質問がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、次に進みたいと思います。

4 その他

○その他第1号 第36回全国短歌フォーラム in 塩尻（一般の部）投稿数

赤羽教育長 続きまして、その他第1号、第36回全国短歌フォーラム in 塩尻（一般の部）投稿数ですが、資料9ページです。事務局から説明をお願いします。

田下生涯学習部次長（社会教育スポーツ課長） それでは、その他第1号、第36回全国短歌フォーラム in 塩尻（一般の部）投稿数でございます。表の左上から、投稿者数ですが、973人と前年比323人の減少となりました。その右、投稿歌数ですが、1,889首。これも前年比638首の減でございます。年代別・性別の人数の表がございますが、60代・70代の投稿者が一番多い年代のところ、やはり減少した部分が大きかったと見て取れます。全ての年代におきまして、減少する結果となっております。

現在、投稿いただいた歌につきまして、賞の選考作業を進めておりますし、また作品集、歌集を作るための準備も進めております。歌の入賞歌の発表、歌集の発行につきましては10月上旬をめどに準備を進めてまいります。今回の投稿につきましては、併せましてアンケートも実施しておりますので、こちらの分析も含めまして今後に活かしてまいりたいと考えています。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。今、説明がありましたが、委員の皆様から御質問、御意見ありましたらお願いいたします。

徳武委員 昨年比で、残念ながら減ってしまったということなのですからけれども、何か原因みたいなものはあるのでしょうか。

田下生涯学習部次長（社会教育スポーツ課長） はっきりとしたことは、正直分らないところではあります。36回、今年度に関しましては、歌の募集を始める段階から、一堂に会しての大会は実施しませんということを当初からうたっておりましたので、そこも大きかったのかなとも感じております。今回、アンケートをたまたま一緒に取っておりますので原因等につきましては今後、詳細に分析をしてまいりたいと考えております。

赤羽教育長 続けて何かあれば、お願いいたします。

徳武委員 また、来年増えればいいなと思います。ありがとうございます。

赤羽教育長 ほかにはどうでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、説明のとおり御承知おきください。

次に進みます。

○その他第2号 令和4年度全国学力・学習状況調査結果の公表について

赤羽教育長 その他第2号、令和4年度全国学力・学習状況調査結果の公表についてですが、資料10ページをお開きください。事務局から説明をお願いします。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） それでは10ページの資料No.5を御覧ください。その他第2号、令和4年度全国学力・学習状況調査結果の公表についてでございます。公表方法につきましては、市教育委員会では、これまでと同様に結果概要や分析結果を公表することとし、平均正答率の数値や個々の学校名を明らかにした公表は行わないことといたします。また、学校においては、保護者や地域住民に対して、これまでと同様に結果概要や分析、学校の取組等について、自校の状況を公表することといたします。

今後の予定につきましては、7月21日及び7月26日に文部科学省から結果通知があり、市教育センター及び各学校において分析等を行っている状況でございます。9月29日の市教育委員会協議会において、公表内容等を御説明の上、10月27日の市定例教育委員会において協議いただき、公表する予定でございます。説明は以上になります。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは今の説明につきまして、御質問、御意見ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。ありがとうございます。ないようですので、御承知おきください。

それでは、本日予定されておりました案件は以上ですけれども、そのほか委員の皆様から何かありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、事務局から何かありましたらお願いします。

5 閉会

赤羽教育長 それでは、以上をもちまして、8月の定例教育委員会を閉会といたします。ありがとうございます。

○ 午後2時20分に閉会する。

以上

令和4年9月29日

署 名

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員 教 育 総 務 課
教 育 企 画 係 長
